

永山地域連絡会

第9号



発行・編集：多摩市永山地域連絡会

事務局：多摩市中部地域包括支援センター

電話042-375-0017

平成30年8月17日発行

# かわら版

平成30年第1回「永山地域連絡会」が6月14日に  
約30名の皆さんが集まり意見を出し合いました。

今回は見守り相談窓口からの活動報告と生活支援の  
仕組みづくりの話し合い、  
「あったらいいな、こんな仕組み」  
を具体化するためのはじめての一歩でした。



## 永山地域連絡会とは？

中部地域包括支援センターが「高齢者が最後まで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」を目指し、地域をサポートするための活動の一環として、地域の方に声かけ開催しています。永山団地自治会、永山団地名店会、民生児童委員、保育園、UR、社協など、永山地域に関わる人々が、膝と膝を突合せ、知恵を出し合う場となっています。

## **多摩市役所 高齢支援課より**

色んな方に参加いただき、「あったらいいな」「自分たちでできたらいいな」を話し合ってきた永山モデルは平成28年度で終了し、継続して永山地区連絡会として引き継ぎました。

永山が素晴らしい地区となるように永山地区のみなさんと具体化に向けて検討していきたいです。



## **多摩市中部見守り相談窓口より**

### **3つの活動**

- ① 訪問…65歳以上の独居、高齢者世帯を訪問。H29年度、訪問者数 7,213 人、4,879 世帯実施
- ② 来所…交流スペースで来所者との会話。H29年度 4,455 人、相談数:1,065 人、多い月は 537 人来所。
- ③ 見守り活動…地域で見守りに協力してくれる方 (=協力員) を養成し、見守希望の方と繋ぐこと

訪問では「世話にならない」と拒否の人もいれば将来の不安を話す人もいる。スムーズな訪問ができる様にチラシのポスティングや地域の集いにお邪魔するなど工夫している。

交流スペースでは何気ない会話から相談につながることもあるので日頃の交流の大切さを感じている。またリモコンの操作方法や任意保険の相談など見守り相談窓口の想定外の相談を受けることもあり、地域とのつながりが薄れていると感じる場面は多い。

3つの活動から今後の展開として、地域の皆様と共に、住民同士の助け合いができる様にバックアップをしていきたい。



## グループワーク 生活支援の仕組みづくり 報告

参加者の皆さんから永山3・4丁目に「生活支援の仕組み」づくりが必要とのご意見を基に、  
継続して地域の皆さんと仕組みづくりを検討しています！

第2層生活支援コーディネーター 担当：岸・渡邊 より

### 前回(平成30年2月)振り返り

#### テーマ:「あったらいいな！こんな仕組み」

- ・一緒に食事ができるところが欲しい
- ・夜の居場所（お酒が飲めるところ）が欲しい
- ・おかずをシェアしたい
- ・子どもも大人も高齢者も集まれるところ
- ・ちょっとしたお手伝い（ごみ捨て・電球交換…）
- ・重いものを運ぶお手伝い



### 今回(平成30年6月)出た意見！

#### ★お助け隊をつくろう！

- ・永山団地自治会でもお助け隊ができるといいね！
- ・お祭りなどのイベントで「ちょっとしたお困りごと」を手伝ってくれるコーナーがあるといいね！



#### ★「食」の居場所をつくろう！

- ・団地の集会所を活用して「食事ができる居場所」があるといいね！
- ・メニューは「おむすび」など手軽に食べられるものがいいね！
- ・子供から高齢者まで気軽に参加できるといいね！



### 今後(次回9月13日を予定)に向けて

「お助け隊」と「食の居場所」づくりについて具体的に進めていきます！

- ・開催日を決めよう！
- ・お手伝いしてくれる方の募集しよう！
- ・みんなに広報しよう！

